

家庭で育つことが困難な子どもたちがいます

全国には、さまざまな理由で家庭で暮らすことができない子どもが約4万5,000人、兵庫県内でも、1,500人以上います。その中で、里親など家庭と同様の環境で生活している子どもは、2割弱にとどまっています。

あかし里親100%プロジェクト

明石市では、すべての子どもが家庭と同様の環境など、一人ひとりにとって望ましい環境で生活できることを目指し、子ども達の育ちを支えてくれる里親の増加に向けて関係機関と協力して取り組んでいます。

子どもとのつながり方はいろいろあります

家族同様の絆でつながる

子どもを自分の家庭に迎え入れて一定期間、一緒に生活する。

▶ 養育里親など

まずは数日間のつながりから

日ごろ保護者のもとで暮らす子どもを2~3日程度預かる。

▶ ショートステイ里親

週末やお正月・夏休みなどに児童養護施設などにいる子どもを一時的に預かる。

▶ ボランティア里親（週末季節里親など）

戸籍上もつながる

裁判所の手続きを経て、法律上も親子となる。

▶ 養子縁組（特別養子縁組）

一緒に買い物に行こう



お誕生日のお祝いをしよう

少しでも興味がある方はまず相談会へ

疑問があれば、なんでも聞いてください。里親になる前から里親になった後もしっかりサポートさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

あかし里親センター

2019年4月から、明石子どもセンター（児童相談所）とあかし里親センターが連携し、里親制度の推進に取り組んでいます。

里子さんの声

この家に来て、家族になるのに血の繋がりは関係ないことを知った。

一緒にせんたくものを干したり、お皿を洗ったりしてうれしかったです。おせちの顔つきのエビをみたのは、はじめてでびっくりしました。おうちでお正月の経験ができてうれしかった。

里親さんの声

もの置きの奥から雪遊びのソリが出てきました。これまでに子どもたちと遊んだ記憶が次から次へと浮かんできました。私たち夫婦にとって、本当に本当に楽しかった大切な思い出です。子どもたち、本当にありがとう。

ありがとうが言えた。ごめんなさいが言えるようになった。「おはよう」と大きな声で言うようになった。子どもたちの一言一言が私たちのエネルギーになります。



地域のお祭りに一緒に行こう

